



TUNER  
ラジオ  
(このときは  
あり、可変比出  
スピーカー 出(左)  
スピーカー 出(右))

レコーダ  
(カセットから  
出る音はステレオ  
だ、(右))

ヘッド使用の場合  
消す=と

現行レコーダ接続

イヤホン  
レコーダから  
(カセットに録音するとき)

音量レベルを増加  
に使う

**marantz**®

**Model 1250  
Stereo Console  
Amplifier**

**マランツ** 商事株式会社

神奈川県相模原市上鶴間3622番地  
(MARANTZ CO., INC.) 20525 Nordhoff Street, Chatsworth, Cal. 91311 U.S.A.

## 特 長

今回、お求めいただきましたモデル1250ステレオコンソールアンプは、ステレオシステムの心臓部ともいえるべきものであり、プログラムソースを選択し、音楽を聞いたり、あるいは録音をしたりするコントロールアンプです。この取扱説明書を読むにしたがって、モデル1250が非常に便利なシステムであることが解ります。通常のプリアンプとパワーアンプの機能に加えて、モデル1250には、2台のテープレコーダ用のセレクトスイッチ、ターンオーバー切替付トーンコントロール、そして2台のレコードプレーヤ、3台のテープレコーダ、および2本のマイクロホンを接続できる入力ジャック、トーンおよびバランスはクリック付スライドコントロール、4連式ボリュームコントロール、さらに12dB/オクターブの30Hz、9kHz フィルタ、その他多くの機能を備えています。

画期的な設計とあいまって、モデル1250には、マランツの最新の技術が生かされています。モデル1250に使用されているすべての電子部品は、許容誤差の少ない、長寿命のものであります。したがって、お手許のモデル1250ステレオコンソールアンプは高品質で、歪の少ない性能を発揮することをお約束いたします。

## はじめに

モデル1250ステレオコンソールアンプの性能を十分に発揮させ、お楽しみいただくためには、この取扱説明書をよく読んでください。モデル1250の設置方法や操作方法は取りわけむずかしいものではありませんが、各コントロールの働きや接続方法をよく理解し、我々がお推めする手順に従って使用していただきますと、モデル1250の機能がより一層生かされます。

この取扱説明書は、理解しやすいように、前半は技術的な説明を除いて、セットの設置方法や簡単な操作方法について説明してあります。後半は、モデル1250の特長を、詳細にわたって説明してあります。詳しい技術的な仕様や機能的な説明も、後半に含まれています。

なお、各操作つまみや接続端子の名称は、理解しやすくするために、**ボールド体**にしてあります。

# 目 次

システムの動作説明	20
規 格	21
使用上の注意	22
お手入れ	22
フューズの交換	22
故障と間違えやすいトラブル	22
ご使用の前に	3
設置方法	3
ウォルナットキャビネット	3
ラックアダプタ	3
特別な設置方法	4
接続方法	5
フォノ入力ジャック	5
チューナ入力ジャック	5
補助入力ジャック	5
テープ1およびテープ2ジャック	5
スピーカシステムの接続	5
スピーカの位相合わせ	8
プリアンプ出力およびメインアンプ入力ジャック	8
スコープ出力ジャック	8
電源コードの接続	8
予備電源コンセント	8
操作方法	10
各コントロールおよびスイッチの説明	11
電源スイッチ	11
ボリュームコントロール	11
ラウドネススイッチ	11
入力セレクトスイッチ	11
テープモニタスイッチ	11
メインおよびリモートスピーカスイッチ	11
モードスイッチ	11
バランスコントロール	11
左・右トーンコントロール	11
トーンディフィートスイッチ	12
ターンオーバースイッチ	12
フィルタスイッチ	12
ステレオヘッドフォンジャック	12
マイクロフォンジャック	12
ダビングジャック	12
レコードセレクトスイッチ	12
テープレコーダの使用方法	14
ダビングジャック	14
録音とダビングをするには	14
テープモニタ	15
修正録音をするには	16
技術的主要事項	18
アクティブフィルタ回路	18
フォノ/マイクアンプ	18
トーンコントロールおよびターンオーバー回路	18
電子保護回路	18

